

# 平成 22 年度 館山市放課後子ども教室実施報告

## 1 事業の目的

- ・ 館山市内の小学校区において、主に木曜日の放課後、小学校の施設等を活用して、地域の方々の参画を得て、子ども達に勉強やスポーツ・文化活動・遊びを実施し、豊かな体験の場を推進する。
- ・ 地域の人や異学年との交流の場とし、子どもの社会性を育てる。

## 2 事業概要

- ・ 館山市が、館山市放課後子ども教室実行委員会と委託契約をして、9小学校区で実施。

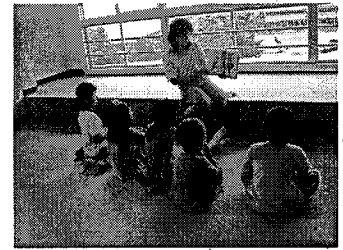
教室名	活動場所	活動状況	スタッフ	平均参加児童数
北条放課後子ども教室	パソコン教室 図書室	開催日：毎週木・金曜日 時間：15時15分～17時の中で 1時間30分 読書は1時間の実施 年間：38日（42回）開催	学習アドバイザー：1名 安全管理員：2名 ※登録スタッフ22名	18.8人 (学年・組を対象に希望制)
富崎放課後子ども教室	プレイルーム	開催日：毎週木曜日 時間：14時30分～16時30分 (冬季は16時まで) 年間：36日開催	学習アドバイザー：1名 安全管理員：2名 ※登録スタッフ5名	13.1人 (毎回希望制)
神余放課後子ども教室	図書室	開催日：毎週木曜日 時間：15時～16時 年間：36日開催	学習アドバイザー：1名 安全管理員：2名 ※登録スタッフ22名	15.3人 (毎回希望制)
九重放課後子ども教室	図書室	開催日：毎週木曜日 時間：14時45分～16時15分 (冬季は15時45分まで) 年間：31日開催	学習アドバイザー：1名 安全管理員：2名 ※登録スタッフ16名	24.8人 (毎回希望制)
西岬放課後子ども教室	幼稚園プレイルーム	開催日：木曜日 時間：14時30分～16時 年間：21日開催	学習アドバイザー：1名 安全管理員：3名 ※登録スタッフ13名	54.1人 (毎回希望制)
那古放課後子ども教室	図書室	開催日：木曜日 時間：15時～16時 年間：20日開催	学習アドバイザー：1名 安全管理員：2名 ※登録スタッフ8名	18.6人 (毎回希望制)
船形放課後子ども教室	図書室	開催日：木曜日 時間：15時～16時 年間：17日（20回）開催	学習アドバイザー：1名 安全管理員：2名 ※登録スタッフ7名	17.8人 (毎回希望制)
豊房放課後子ども教室	図書室	開催日：木曜日 時間：15時～16時 年間：25日開催	学習アドバイザー：1名 安全管理員：2名 ※登録スタッフ6名	22.6人 (毎回希望制)
館野放課後子ども教室	図工室	開催日：木曜日 時間：15時～16時30分 (冬季は16時まで) 年間：17日開催	学習アドバイザー：1名 安全管理員：2名 ※登録スタッフ8名	22.9人 (毎回希望制)

9教室合計 延べ248回開催 延べ5,366名参加

### 3 活動内容

#### ○北条放課後子ども教室

- ・平成16年の地域子ども教室推進事業から実施し、開設7年目。
- ・児童数が多いため、学年を決めてクラスごとに教室の申し込みをとり、実施している。
- ・NPO 法人南房総 IT 推進協議会に所属する学習アドバイザーが、学年に応じたカリキュラムでパソコンの学習を行っている。
- ・保護者、パソコンボランティアが毎回多数協力をしている。
- ・今年度は、5・6年生を対象に、若潮マラソン子どもレポーターを実施した。
- ・今年度初の試みとして、1～3年を対象に読書・読み聞かせを主とする教室を開催した。



#### ○富崎放課後子ども教室

- ・教室を開設して4年目。
- ・スタッフ登録者は少人数だが、保護者、保護者OBが協力的に進めている。
- ・内容は、主に自主学習。他に、神余放課後子ども教室と合同で陶芸教室を実施した。また、今年度は保護者である劇団四季出身のご夫婦を学習アドバイザーに迎え、安房節をもとにしたミュージカル作りに取り組んだ。
- ・全校児童のほとんどが教室に参加し、放課後の学校が子どもの居場所となっている。



#### ○神余放課後子ども教室

- ・平成16年度の地域子ども教室では、パソコン教室として実施しており、開設7年目。
- ・以前から学校・PTA・地域住民で組織している「神余子育て推進委員会」が母体となって事業を実施している。
- ・内容は、自主学習の他、工作、パソコン、外遊び、一輪車等。土日等には、蛍鑑賞会、流しそうめん、陶芸教室、神余探訪等実施。
- ・全校児童の大部分が教室に参加しており、子ども達は多彩な教室を楽しみにしている。

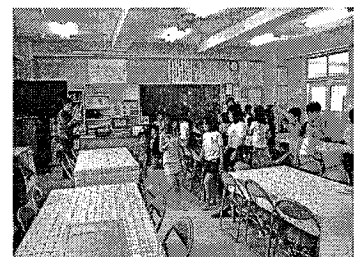


#### ○九重放課後子ども教室

- ・教室を開設して、4年目。
- ・中学校教員OBや学校支援員の方、サークル団体等が学習アドバイザーとして教室を進めている。

第1・2週 宿題、英語や読み聞かせ又はスポーツ

第3週 語り部さんの話(楨の会)



#### 第4週 工作

- ・スタッフ、学校、PTAからなる実行委員会を数多く開き、その都度、教室のあり方について検討を重ねて実施している。

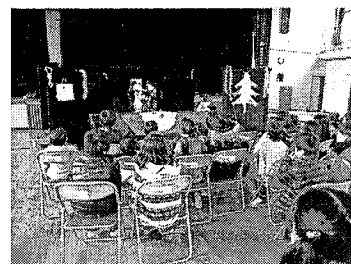
#### ○西岬放課後子ども教室

- ・教室を開設して3年目。
- ・スタッフは、保護者や地域住民。
- ・内容は、自主学習、自由遊び。夏休みに竹細工作りを実施。また、地域の方に講師を依頼してパソコン教室を2回行った。
- ・学区が広くバス通学の子が多いため、全校児童の6割以上の子ども達が毎回教室に参加し、放課後の子ども達の居場所になっている。



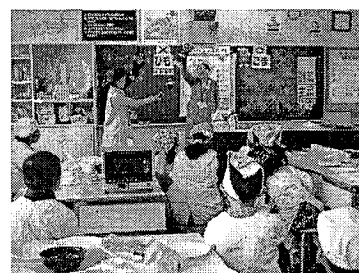
#### ○那古放課後子ども教室

- ・教室を開設して3年目。
- ・スタッフは、保護者や地域住民。
- ・内容は、工作、読み聞かせ、紙芝居、パソコン、スポーツ等。地域の方やサークル団体の協力で音楽会や人形劇も実施した。
- ・スタッフ、学校、PTAからなる実行委員会を数多く開き、その都度、教室のあり方について検討を重ねて実施している。



#### ○船形放課後子ども教室

- ・教室を開設して、3年目。
- ・スタッフは、保護者や地域住民など。
- ・スタッフの得意とするものを生かした教室を実施。理科の実験教室、読み聞かせ、ドッジビー、ちぎり絵等を実施。市の出前講座を利用した食育教室や地域のサークル団体による人形劇等も実施した。
- ・実施する内容によっては、低学年と高学年と別々に開催した。



#### ○豊房放課後子ども教室

- ・教室を開設して、3年目。
- ・スタッフは、地域住民の他、学区外の住民も協力。スタッフに多彩な技術をもった方がいて、実施内容に活かされている。
- ・内容は、前半は自主学習。後半は、パソコン、ドッジボール、ドッジビー、折り紙、ゲーム、工作等。市の出前講座を利用



して、読み聞かせも2回実施した。

- ・自主学習の静かな雰囲気。後半の楽しいレク等、メリハリがあり、子ども達は教室を楽しみにしている。

#### ○館野放課後子ども教室

- ・教室を開設して、3年目。
- ・スタッフは、保護者、地域住民の他、学区外の住民も協力。スタッフに、ものづくりが得意な人やスポーツが得意な人がおり、スタッフの個性にあった教室が開かれている。
- ・内容は、自主学習、工作、ジャイロ、ドッジボール、ゲーム等。
- ・参加者が多いので、今年度は学年で分けて教室を実施した。



#### 4 地域とのかかわり

- (1) 学校 活動場所の提供・参加申込のちらしの配布と取り纏め・日程調整
- (2) PTA 学習アドバイザー・安全管理員・ボランティアスタッフ・実行委員会委員として事業に参画
- (3) 関係団体 NPO 法人南房総 IT 推進協議会からの講師派遣・技術サポート・機材の提供

#### 5 安全管理対策

- ・スタッフが校内に入る際には学校の事務室等に声をかけ、名札の着用を義務付け、不審者等の侵入を防いでいる。
- ・放課後の完全下校時には教室を終了し、明るいうちに帰宅できるよう下校時の安全に配慮している。(終了が下校を過ぎる北条放課後子ども教室では、保護者に迎えをお願いしている。)

#### 6 参加方法・費用

- ・学校を通じてチラシ(参加申込書)を配布し、学校又はスタッフが取りまとめ指導者に渡している。
- ・参加費は無料。但し、セット等で個人が使うものや食べ物については、実費負担。

#### 7 参加した子ども達の感想

- ・友達と一緒に遊べること、宿題が先にできて家に帰って楽なこと、いろんな遊びやお話が聞けるところが、放課後子ども教室のいいところだと思います。
- ・体育館で鬼ごっこをしたり、プレイルームの中で友達と折り紙をしたり、遊ぶものがいっぱいあっていいです。
- ・外でみんなと遊べて、低学年とも仲良くできる。なかなかそういう時間はないのでよかったです。

す。

- ・ いろんなことに挑戦できるところが楽しいです。
- ・ 家でできないことができたり，学年の違う子と遊べたりして楽しいです。

## 8 成果と課題

### (1) 成果

- ・ 毎週木曜日の早帰りの日に，子ども達が学校で宿題や遊びができ，放課後の学校施設が子どもの安全・安心な居場所作りになっている。
- ・ 子ども達が，学習や遊びなどを通して異学年との交流ができ，友達が増え，人間関係能力を育むことができる。
- ・ ものづくりや昔の遊び，伝統的な遊び，読み聞かせなどの活動を通して，子ども達が豊かな心を育むことができる。
- ・ スタッフ，学校，PTA等が，放課後子ども教室の活動や会合を通して，家庭・学校・地域が一体となって子どもを育てていく意識を高めることができる。
- ・ 個人や組織のボランティアが，専門的な能力を発揮するよい機会となっており，教室ごとに特色ある活動が展開されている。

### (2) 課題

- ・ スタッフ，特に学習アドバイザーの確保が難しい。また，保護者がスタッフの場合，子どもが卒業するとボランティア意識が薄れる傾向がある。
- ・ スタッフの会議や準備が十分にとれず，内容によっては担当のスタッフに負担がかかることがある。
- ・ 主に木曜日に実施しているため，その日に塾や習い事をしている子どもは参加しにくく，参加者が固定化しやすい。
- ・ 参加者のとりまとめ，事故時の対処の問題，会合への出席，開催場所の提供など，学校側に今までにない負担がある。